

2次直前対策通信講座

増谷 健史さん

【受験の動機】

私は現在、メーカーの経営企画部に所属しております。社会人になって以来、経理・経営企画系の業務に従事しており、簿記、法務、IT等の資格試験に挑戦してきたことから、今までの業務経験や資格取得の集大成として中小企業診断士の資格を取得したいと考え、受験に至りました。

【受験歴】

平成24年度1次試験 合格(独学)

平成24年度2次試験 合格(MMC2次直前対策)

【1次試験の学習方法】

試験までの時間が十分になかったこともありますが、他の資格試験の受験経験から、重視すべきは過去問等の問題演習と考え、アウトプット学習をメインに行い、知識や理解が足りない論点をインプットする学習方法としました。

すでに簿記や法務、情報系の資格を有していたことから、財務・会計、経営法務、経営情報システムについては、過去問等を活用して理解の足りない論点を絞込んだ上での潰し込みを行い、それ以外の科目は全般的な問題演習を通して、知識のインプットを行う等、科目による重み付けを行いました。

ただし、中小企業経営・中小企業政策については、過去問対策があまり意味を成さないため、市販のテキストや中小企業白書を用いて、1次試験2週間前頃から集中して暗記しました。

【2次試験対策にMMCを選んだ理由】

自己採点により1次試験の合格が判明したところで、初めて2次試験の問題を真剣に見ました。当初は2次試験も独学で受験しようと考えていましたが、2次試験問題を見て、2ヶ月余りで独力で解答方法をマスターする自信がまったくなかったため、受験対策校を活用することを決意しました。

受験対策校の選定方法は、1次試験でもそうでしたが、私は過去問演習の重要性を重視していましたので、平成13~23年の過去問+解説がもらえるMMCに魅力を感じました。また、平成23年度の各受験対策校の模範解答を比較して、MMCの解答がわかりやすいと思えたこと、インターネットで公表されている教育訓練給付制度活用者の、MMCでの合格率が高いこと等を総合的に勘案し、MMCを活用することに決定しました。

【2次試験の学習方法】

1次試験と異なり、2次試験対策は困難を極めました。当初、80分という短い時間で与件文を読み込み、設問に対する解答をまとめ、実際に記述していくのは非常に困難でした。しかしながら、MMCの「題意に忠実に」「因果関係で書く」「切り口を明確に」「キーワードで書く」の4つの鉄則を常に頭に入れて問題に取り組むことを意識していました。

8月の受講開始当時は、解答をまとめたりキーワードを使ったりすることがほとんどできない状態でしたが、添削された指摘内容に素直に従い、演習や模試を受けていくにつれて、点数が上昇して行きました。最後のMMC模試

では上位33%程度とやや実力不足な位置にいましたが、このまま学習を継続していけば、合格できるかもしれないという可能性が感じられました。

私は2次試験の解答に際して、明確な時間配分をしていませんでした。前半の約40分で問題把握、事例文読解、解答骨子作成を行い、後半の約40分で解答記入と大まかな目標を決めるのみで、解答の進捗に応じて目標時間を変動させる方法を採用していました。結果的に、本試験において、事例2の第3問で解答用紙への記入後に大間違いをしたことに気づいた際に、目標時間の修正に柔軟に対応して、解答の書き直しを行うことができたため、この作戦は私にとっては成功でした。

【最後に】

MMCのホームページでは、あまり合格率に関する表記を確認することができませんが、5割を超えるような高い合格率となっており、MMCの解答メソッドを信じて学習すれば2次試験に合格する力が十分に付けられると思います。

私は申し込みが遅れた関係から通学講座を受講することができず、通信での受講となりましたが、可能であれば通学をするべきだと思います。その理由は、通学者のみ参加できる直前対策イベントがあることや、生の講義の雰囲気は通信で受講するのとは異なり、学習効果がより高まると考えられるからです。直前対策を受講される予定の方は、1次試験合格が確定した時点での早めの申し込みをお勧めします。

私の場合は通信受講のため、添削をして頂くことや、動画の講義を見るくらいでしか接点はありませんでしたが、中居先生、徳川先生をはじめMMC講師の方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

MMCの益々の繁栄、およびこれから受験される方の成功を祈念しております。